

## 令和4年度 飯田市議会報告・意見交換会で寄せられた意見等に対する報告 (1/2)

市議会の総務、社会文教、産業建設その他の各委員会では、分科会やアンケートでいただいた全597件の意見等のうち、**早急に回答を要すると判断した5件**について、執行機関側への聞き取りと、所管する委員会での協議を経て回答を取りまとめました。

今回は中間報告として、取りまとめた結果を公表いたします。

No.	ブロック	分科会	議会報告・意見交換会における意見等	回 答
1	上村	3	「下栗の里」入口の案内標識が飯田方面から来るとわかりにくい。	案内標識が視認しやすくなるよう、標識周辺の枝払い等を実施しました。 【遠山郷観光振興室】
2	上村	3	しらびそ高原「天の川」手前の道路脇の山林が崩落し水道管が露出している早急に対応を。	県の治山事業（緊急性の観点から補正予算で対応）で実施することが決まり、先日施工業者が決定した旨の連絡を受けています。【林務課】 水道管については令和5年度当初に移設できるよう、令和5年度当初予算にて工事費を要求しています。【遠山郷観光振興室】
3	上村	3	矢筈トンネル飯田側出口の道路わきは、ペットボトルなどのゴミが多く景観が悪い。上村側は掃除している。（喬木村であるが）	県道251号上飯田線は飯田建設事務所の所管となります。 いただいたご意見については、道路管理者である飯田建設事務所へ情報を提供し、適切な維持管理に努めるよう依頼して参ります。【国県関連事業課】
4	山本	3	子育て世代の移住定住には保育園の充実が不可欠。山本地区にも私立保育園はあるが公立保育園で時間外保育の対応を。長時間保育の実施をかならず実行願います。	飯田市第二期子育て応援プランでは、「全地区において、保育標準時間（11時間）の保育サービスがあるまち」を目指しており、山本地区においては地元の社会福祉法人洗心会（さくら保育園）へ委託し、保育標準時間（11時間保育）や、0歳から未就学児までの保育を実施いただいています。 近年の少子化の中、地元のさくら保育園の受入枠には十分な余裕があります。長時間保育や3歳未満児の保育ニーズがあれば、まず、さくら保育園の活用をご検討ください。 このたび移住定住促進の観点から、地区内2園目（公立保育園）での時間外保育をご提案いただきました。 保育サービスの維持・充実には保育人材が必要ですが、今日の全国的な保育士不足の中、私立・公立に関わらず各保育園では人材の確保に苦慮しています。 市は、保育士等人材確保事業として、保育教育資格者の移住促進を図るとともに、まちづくり委員会や保護者会のご理解をいただき、朝や夕方の保育を補助する人材を地域からご協力いただく仕組みづくり等に取り組んでいます。 山本地区についても、各保育園の児童減少が進む中、地元の保育園の安定運営を図りつつ、今後の保育ニーズへの効果的な保育サービスの提供について、地域の皆さまとともに研究してまいります。【子育て支援課】

No.	ブロック	分科会	議会報告・意見交換会における意見等	回 答
5	上郷	2	市の大腸がん検診の申込が、90歳の方に届いていなかった。89歳までだと聞いたが、それはなぜか。	<p>飯田市では、平成24年度胃がん検診において高齢者の死亡事案が発生したことから、飯田医師会健診事業委員会へ、がん検診の対象年齢について相談・協議しました。</p> <p>医師会からいただいた意見は、主に次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精密検査では内視鏡検査を行うが、高齢者は筋肉が薄く、腸穿孔、出血等のリスクが高く、死亡例が増える。</li> <li>・80歳代の大腸内視鏡検査は、体への負担が大きく、90歳代になるとさらに厳しい。</li> <li>・高齢になると基礎疾患を持っている人が多く、かかりつけ医の管理下で検査を行うことが望ましい。</li> </ul> <p>医師会との協議の結果「大腸がんについては受診対象を35歳～89歳まで」と設定しました。</p> <p>大腸がん検診の便潜血反応検査は年齢に関係なく検査できますが、要精密検査になった場合は医療機関で異常の有無を確定診断してもらうことが必須であり、『便潜血反応検査と精密検査は大腸がん検診の一連の流れ』です。国のがん検診指針では、精密検査は全大腸内視鏡検査とされていますが、この検査は身体的なリスクが大きく、また疾患や体力により精密検査ができない場合には精神的な不利益が大きくなります。このようなことから90歳以上の方は、かかりつけ医の管理下で必要な検査を必要な時期に適切な検査方法で行うことが望ましいと判断し、年齢制限を設けています。【保健課】</p>